

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第20週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (20 週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 4 例。

3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。4 類感染症：報告なし。

5 類感染症：クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例、後天性免疫不全症候群 1 例、梅毒 1 例、破傷風 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・病名	症状等
2類	結核	宮崎市	30 歳代	女	肺結核	症状なし
			70 歳代	女	肺結核	症状なし
			80 歳代	女	肺結核	発熱
			80 歳代	男	肺結核	発熱
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	20 歳代	女	無症状病原体保有者	O91(VT1産生)
5類	クロイツフェルト・ヤコブ病	宮崎市	70 歳代	女	古典型クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD) 診断の確実度:ほぼ確実	進行性認知症、ミオクローヌス、錐体路症状、視覚異常、無動性無言状態、記憶障害
	後天性免疫不全症候群	宮崎市	30 歳代	男	AIDS	発熱、乾性咳嗽、労作時呼吸困難 指標疾患:カンジダ症、 ニューモシスティス肺炎
	梅毒	日向	40 歳代	男	早期顕症梅毒(Ⅰ期)	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹(無痛性)
	破傷風	宮崎市	70 歳代	女	—	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、 瘻笑、易興奮性 破傷風ワクチン接種歴なし

《前週との比較》

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 906 人 (定点当たり 25.8) で、前週比 170%と増加した (前週は祝日含む)。前週に比べ、インフルエンザを除いて全ての疾患が増加した。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

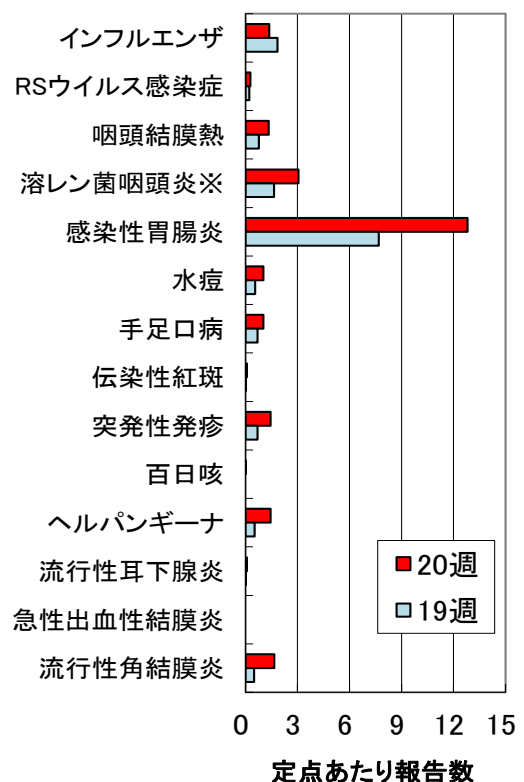
【咽頭結膜熱】

・報告数は 48 人 (1.3) で、前週比 171%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (0.92) の約 1.5 倍と多い。中央(6.0)、日南(3.3)保健所からの報告が多く、年齢別では 1 歳が全体の約 4 割を占めた。

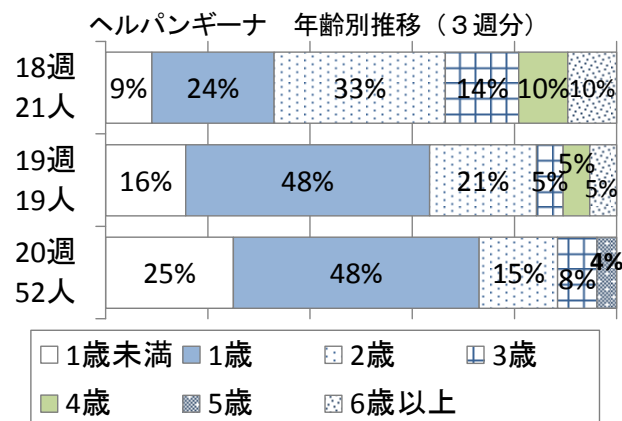
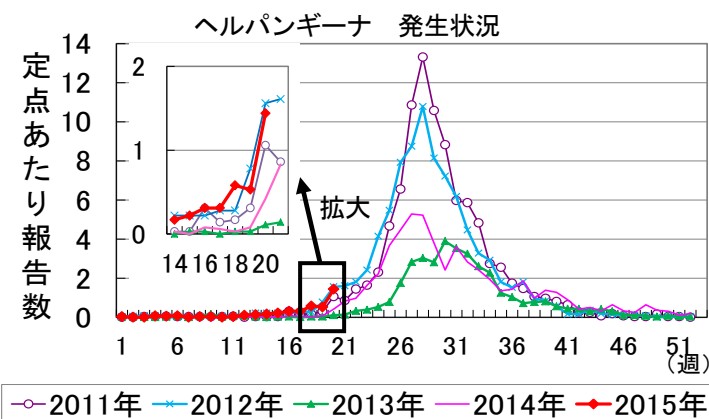
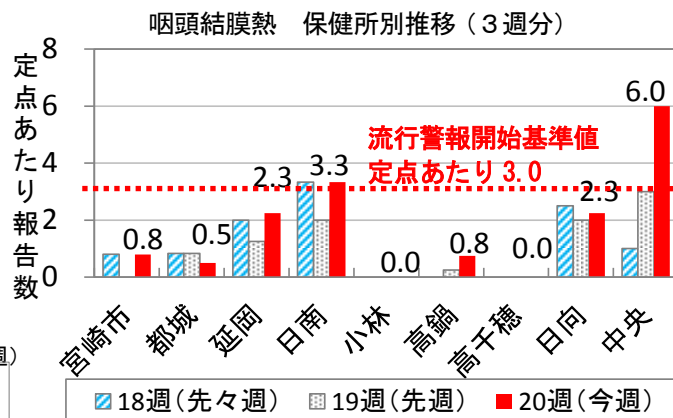
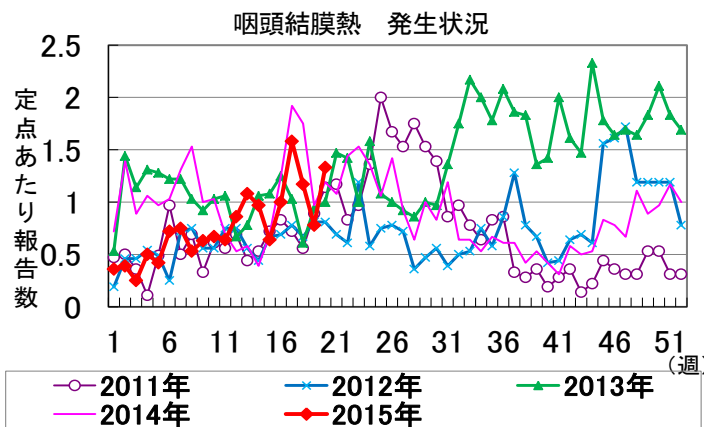
【ヘルパンギーナ】

・報告数は 52 人 (1.4) で、前週比 274%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (1.0) の約 1.4 倍と多い。延岡(8.0)保健所からの報告が多く、年齢別では 1 歳が全体の約半数を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.8)、ヘルパンギーナ(8.0)
日南	咽頭結膜熱(3.3)
小林	感染性胃腸炎(21.0)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	咽頭結膜熱(6.0)

* 流行警報レベル開始基準値 *

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・ヘルパンギーナ(6.0)

★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎 (ロタウイルス) : 日向保健所管内で1例報告された。0～4歳で、病原体の群別不明。

□ 病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 平成 27 年 5 月 19 日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日	衛研番号
EHEC(O111:HNM VT1,2)	20歳代	男	2015.4.21	胃腸炎(腹痛、血便、水様性下痢(15161の家族))	便	2015.5.7	15156
<i>Salmonella</i> spp OUT(血清型不明)	90歳代	女	2015.4.21	—	便	2015.5.7	15157
EHEC(O111:HNM VT1,2)	5～9歳	男	2014.4.27	腹痛(15156の家族)	便	2015.5.7	15161
<i>Salmonella</i> Corvallis (O8:z4,z23:-)	70歳代	女	2015.4.30	—	便	2015.5.13	15163
<i>Salmonella</i> Thompson(O7:k:1,5)	0～4歳代	女	2015.5.1	—	便	2015.5.13	15164

今年度初めて、家族内感染と思われる 20 代男性と 5～9 歳男児から腸管出血性大腸菌（EHEC）O111:HNM VT1,2 が検出された。EHEC は例年 8 月頃が発生のピークであることから、今後の発生動向に注意する必要がある。なお、宮崎県では毎年、保育園等で EHEC の集団感染が発生しており、気温の上昇とともに、食べ物を介した感染だけでなく、簡易用ミニプール水等を介した感染拡大の防止にも注意する必要がある。厚生労働省による「保育所における感染症対策ガイドライン」（2012 年 11 月改訂）では①年少児が利用することの多い簡易用ミニプールも含めて、塩素消毒を含む水質管理の徹底 ②プール遊び前のシャワーとお尻洗いの徹底 ③排泄が自立していない乳幼児には個別のたらいを用意し、プールを共用しないなどが推奨されている。

★ウイルス

報告なし

✚ 全国第 19 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 19 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	177 例				
3類感染症	細菌性赤痢	3 例	腸管出血性大腸菌感染症	7 例		
4類感染症	E 型肝炎	1 例	A 型肝炎	4 例	つつが虫病	2 例
	デング熱	1 例	マラリア	1 例	レジオネラ症	8 例
5類感染症	アメーバ赤痢	12 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	11 例
	急性脳炎	2 例	後天性免疫不全症候群	7 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	39 例	水痘（入院例）	4 例
	梅毒	25 例	破傷風	3 例	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1 例
	風しん	2 例	麻しん	1 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 61%と減少した（祝日含む）。いずれの疾患も横ばいもしくは減少した。

咽頭結膜熱の報告数は 1,170 人(0.37)で前週比 65%と減少し、例年同時期の定点当たり平均値* (0.38)と同程度であった。新潟県(1.1)、山形県(0.80)、宮崎県(0.78)からの報告が多く、年齢別では 1～3 歳が全体の約 6 割を占めた。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 5,177 人(1.6)で前週比 54%と減少し、例年同時期の定点当たり平均値*(1.9)の約 0.9 倍であった。鳥取県(3.6)、島根県(3.1)からの報告が多く、年齢別では 4～6 歳が全体の約 4 割を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2015年 第20週(5月11日～5月17日)

疾病名		第19週	第20週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	109	81	13	18	9		21	2	10	2	6
	定点あたり	1.85	1.37	0.81	1.80	1.29	0.00	4.20	0.33	5.00	0.33	3.00
RSウイルス 感染症	報告数	8	10			6					4	
	定点あたり	0.22	0.28	0.00	0.00	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	28	48	8	3	9	10		3		9	6
	定点あたり	0.78	1.33	0.80	0.50	2.25	3.33	0.00	0.75	0.00	2.25	6.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	59	110	9	14	35	23	1	6		20	2
	定点あたり	1.64	3.06	0.90	2.33	8.75	7.67	0.33	1.50	0.00	5.00	2.00
感染性胃腸炎	報告数	277	461	125	81	28	54	63	40	17	38	15
	定点あたり	7.69	12.81	12.50	13.50	7.00	18.00	21.00	10.00	17.00	9.50	15.00
水痘	報告数	20	37	11	4	12	3	2	2		2	1
	定点あたり	0.56	1.03	1.10	0.67	3.00	1.00	0.67	0.50	0.00	0.50	1.00
手足口病	報告数	25	37	14		2	3	4	7	1	2	4
	定点あたり	0.69	1.03	1.40	0.00	0.50	1.00	1.33	1.75	1.00	0.50	4.00
伝染性紅斑	報告数	1	3	2					1			
	定点あたり	0.03	0.08	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	25	52	11	6	10	13	1	7		4	
	定点あたり	0.69	1.44	1.10	1.00	2.50	4.33	0.33	1.75	0.00	1.00	0.00
百日咳	報告数		1	1								
	定点あたり	0.00	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	19	52	9	5	32	3				3	
	定点あたり	0.53	1.44	0.90	0.83	8.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	3	1		1		1				
	定点あたり	0.03	0.08	0.10	0.00	0.25	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	3	10	9		1						
	定点あたり	0.50	1.67	3.00	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数		1								1	
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		1.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2015年第1週～20週)

2類感染症	結核	80例(4)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4例(1)				
4類感染症	A型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	2例	つつが虫病	3例
	日本紅斑熱	1例	マラリア	1例		
5類感染症	ウイルス性肝炎	3例	急性脳炎	2例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例(1)
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例	後天性免疫不全症候群	3例(1)	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例
	侵襲性肺炎球菌感染症	2例	水痘(入院例)	1例	梅毒	2例(1)
	播種性クリプトコックス症	2例	破傷風	3例(1)		

()内は今週届出分、再掲